

この打開には、国・県の諸対策と相まって、商工団体と緊密な連携を保ち、なおかつ商工振興審議会の答申を尊重し、業者の健全な発展を図られるよう、次のような施策を講じていきます。

金融対策として、産業育成資金の予託及び制度資金の活用、ピーアールを進め、町単独の店舗改装設備近代化資金の予託と近代化資金の利子補給、各種講演・講習会、ゼミナールの開催などにより、商工振興の充実を図っていきます。

商工振興 制度資金の活用を

ながびく経済不況と社会構造の変化により、本町の商工業をめぐる経済環境も農業同様、厳しさを増しております。

解と協力をお願いし、国・県の指示に沿って、一〇〇%達成されるよう作業を進めていきます。

なお、この国・県の施策の外に転作目標達成農家について、一〇アール当り五千円、管理転作の場合も一〇アール当り三千円、青刈りの場合も一〇アール当り三千円を助成することにしております。

教育 大野小改築に 二億二千万円

教育は人間社会を形成する根幹であることから、新年度事業として、大野小学校の木造校舎の改築を計画、およそ二億二千万円を投入し、さらに五十四年度から継続中の、黒崎中学校新増築事業は、八月末日で完成の予定です。

また、スポーツ活動を積極的に進めるため、野球場のナイター施設を設置し、勤労青少年の体育向上をはかることにしております。

社会福祉協議会を 新たに、 法人格に

急激な社会情勢の変動と、福祉事業の領域拡大、対外責任の明確性に対応するため、社会福祉法人、社会福祉協議会を設立して、社会福祉事業の能率的運営と組織的活動を促進し、この増進を図ることとしました。

このほか、老人福祉対策、障害者福祉対策、児童福祉対策、母子老人世帯に対する公衆浴場入浴の無料化、社会的に恵まれない方々への慰問金扶助や各種福祉団体に助成等を行っていきます。

河川敷に 児童公園を建設

児童・生徒及び大人も一緒に楽しむことのできる、児童公園を、中ノ川河川敷(七区・八区裏)を整備し建設します。

総合庁舎建設は、昨年度、内部的にプロジェクトチームを設置しましたが、新年度は議会と連携をとりながら、調査研究を進め、計画立案に当たりたいと考えています。

農村公園設置 特別会計は 三千六百万円

木場地区の、上越新幹線と北陸自動車道に挟まれた地区の移転跡地を、農村公園として、憩いの場、軽スポーツ広場などの青写真を計画。この予算は用地の未買収、未払分、立木移転補償費などです。

国民健康保険 特別会計は 五億六千万円

国民健康保険特別会計は、前年度を三%近く上回り、総額で五億六千万円となっています。みなさんの健康を守る大切な会計です。しかしながら、高福祉的な諸施策に伴い、医療費は急増する一

生活環境整備に力 町道改良舗装に 2億6千万円を投入

道路行政については、町単独事業として、2億6千万円を投入し町道の改良、舗装整備を計画的に実施。都市下水道事業は、今年度も継続事業として、鳥原、前川原に建設中のポンプ場に600ミリの立軸斜流ポンプ1台の設置を計画しております。

また、寺地団地と新潟市小新塚の寺地下江及び鳥原新地下江を改修する予定です。

歩道整備事業として、裏堤防線、中学通り、鳥原寺地線の寺地団地内に、歩道の建設も予定しています。

三つの基盤を 主軸に

このような認識のもとに、町制執行の基本姿勢として、●公平無私、●対話の町政、●明るい将来への確信、をモットーに国・県の諸制度を有効に活用しつつ、町政に対する行政サービスの向上に努め、諸施策を積極的に推進し、健康で文化的な生活のある明るい豊かな黒崎町建設の実現に向けて、渾身の努力をする所存です。

前述した所信を基調とし、新年度予算編成に当り、従来提唱して

- おります。
- (1)生活環境の整備と充実。
 - (2)農・商・工業の調和がとれた産業基盤の育成・整備。
 - (3)教育・スポーツの振興・青少年の健全育成・文化施設の充実。
 - (4)住民福祉の増進。
- の四本を柱とし、町政推進の基本方針に沿って、財源の重点的、かつ、効率的配分を行ったものです。
- 以下各項目については、重点施策の概要とその基本的な考えの大綱だけを掲載し、一部省略致しました。

交通安全対策 死亡事故「ゼロ」の 更新を

警察・交通安全協会・同母の会交通指導隊などと連携を密にし、安全施設の整備充実と、安全教育の普及をさらに推進し、交通死亡事故「ゼロ」運動を強力に展開し記録を更新するため、広報活動や施設の整備充実をはかる予定です。

農村環境整備へ スタート

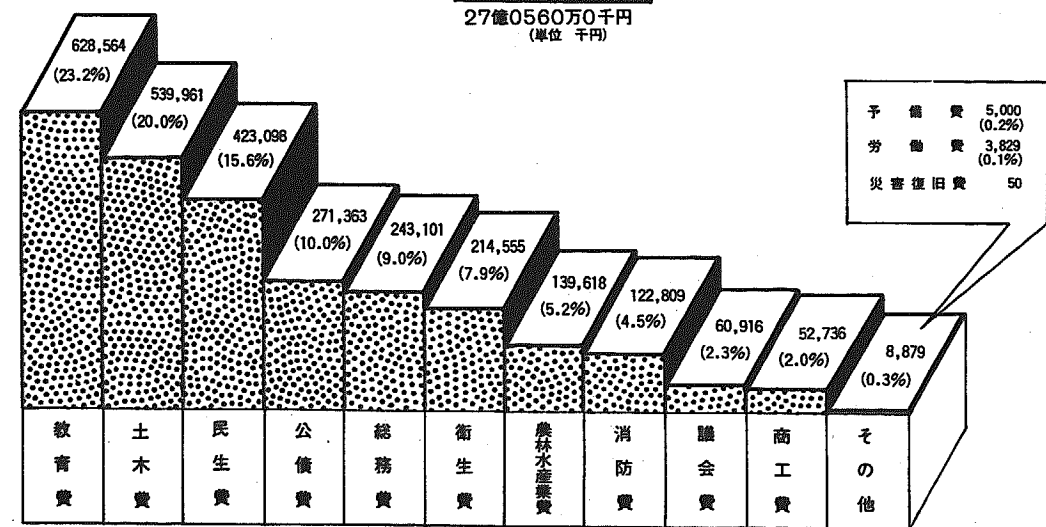
都市部に比較して、立ち遅れている農村部の環境整備を行う「農村総合モデル事業」をスタートさせ、家庭排水路や集落内道路の整備を行う予定です。

農家には「痛手」 一六三ヘクタールの 減反配分

水田利用再編対策は、農家のみなさんのご協力で、五十四年は目標配分面積に対し、一二〇%の達成率をみる事ができました。

五十五年は、さらに食糧需給が厳しい状況下であり、一六三haの減反配分通知を受け、現在、農業団体や農家組合長会議などに、米の需給状況を説明し、部落ぐるみによる計画転作、集団化計画の理

歳出
27億0560万0千円
(単位 千円)



歳入
27億0560万0千円
(単位 千円)

